

【表紙】

【提出書類】	訂正発行登録書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年5月31日
【会社名】	オリックス株式会社
【英訳名】	ORIX CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表執行役 井上 亮
【本店の所在の場所】	東京都港区浜松町2丁目4番1号 世界貿易センタービル内
【電話番号】	03(3435)3000(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 五唐 裕也
【最寄りの連絡場所】	東京都港区浜松町2丁目4番1号 世界貿易センタービル内
【電話番号】	03(3435)3116(ダイヤルイン)
【事務連絡者氏名】	財務部 資本市場チーム長 嶋 豊
【発行登録の対象とした募集有価証券の種類】	社債
【発行登録書の提出日】	2021年5月17日
【発行登録書の効力発生日】	2021年5月25日
【発行登録書の有効期限】	2023年5月24日
【発行登録番号】	3 - 関東1
【発行予定額又は発行残高の上限】	発行予定額 500,000百万円
【発行可能額】	500,000百万円 (500,000百万円) (注) 発行可能額は、券面総額又は振替社債の総額の合計額 (下段()内は発行価額の総額の合計額)に基づき算 出しております。
【効力停止期間】	この訂正発行登録書の提出による発行登録の効力停止期間は、 2021年5月31日(提出日)であります。
【提出理由】	2021年5月17日付で提出した発行登録書の記載事項中、「第一部 証券情報」「第1 募集要項」の記載について訂正を必要とするため及び「募集又は売出しに関する特別記載事項」を追加するため、本訂正発行登録書を提出いたします。
【縦覧に供する場所】	オリックス株式会社 大阪本社 (大阪市西区西本町1丁目4番1号 オリックス本町ビル) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

【訂正内容】

第一部【証券情報】

第1【募集要項】

<オリックス株式会社第203回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）及びオリックス株式会社第205回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）に関する情報>

1【新規発行社債】

（訂正前）未定

（訂正後）本発行登録の発行予定額のうち、金20,000百万円を社債総額とするオリックス株式会社第203回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）（以下「第203回債」という。）を利率年0.150%～0.350%の範囲内で、下記の概要にて発行する予定であります。なお、財務上の特約として、担保提供制限及び担付切換条項を特約する予定であります。

また、本発行登録の発行予定額のうち、金（未定）円を社債総額とするオリックス株式会社第205回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）（以下「第205回債」という。）を、下記の概要にて発行する予定であります。

第203回債

各社債の金額：金100万円（予定）
発行価格：額面100円につき金100円（予定）
条件決定日：2021年6月8日（予定）
申込期間：2021年6月9日から2021年6月21日まで（予定）
払込期日：2021年6月22日（予定）
償還期限：2028年6月22日（予定）

第205回債

各社債の金額：金1億円（予定）
発行価格：額面100円につき金100円（予定）
払込期日：2021年6月（予定）（注）
償還期限：2028年6月（7年債）（予定）（注）
（注）それぞれの具体的な日付は今後決定する予定です。

2【社債の引受け及び社債管理の委託】

(訂正前)未定

(訂正後)第203回債を取得させる際の引受金融商品取引業者及び社債管理を委託する社債管理者は、次の者を予定しております。

社債の引受け

引受人の氏名又は名称	住所
みずほ証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目5番1号
S M B C 日興証券株式会社	東京都千代田区丸の内三丁目3番1号
大和証券株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目9番2号
岡三証券株式会社	東京都中央区日本橋一丁目17番6号
東海東京証券株式会社	名古屋市中村区名駅四丁目7番1号
丸三証券株式会社	東京都千代田区麹町三丁目3番6
岩井コスモ証券株式会社	大阪市中央区今橋一丁目8番12号
藍澤証券株式会社	東京都中央区日本橋一丁目20番3号
安藤証券株式会社	名古屋市中区錦三丁目23番21号
株式会社SBI証券	東京都港区六本木一丁目6番1号
静銀ティーエム証券株式会社	静岡市葵区追手町1番13号
東洋証券株式会社	東京都中央区八丁堀四丁目7番1号
西日本シティTT証券株式会社	福岡市博多区博多駅前一丁目3番6号
むさし証券株式会社	さいたま市大宮区桜木町四丁目333番地13

社債管理の委託

社債管理者の名称	住所
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町二丁目2番1号

第205回債を取得させる際の引受金融商品取引業者は、次の者を予定しています。

社債の引受け

引受人の氏名又は名称	住所
大和証券株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
みずほ証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目5番1号
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目9番2号
S M B C 日興証券株式会社	東京都千代田区丸の内三丁目3番1号

3【新規発行による手取金の使途】

(1)【新規発行による手取金の額】

(訂正前) 未定

(訂正後) 払込金額の総額(未定)円(発行諸費用の概算額は未定)

(注) 上記金額は、第203回債及び第205回債の合計金額であります。

(2)【手取金の使途】

(訂正前) 設備資金(賃貸資産購入資金を含む)、割賦購入あっせん実行資金(立替払型及び債権譲渡型)、割賦販売実行資金、貸付資金、投融資資金、運転資金、借入金返済資金、有価証券の取得資金、短期社債償還資金及び社債償還資金に充当する予定であります。

(訂正後) 設備資金(賃貸資産購入資金を含む)、割賦購入あっせん実行資金(立替払型及び債権譲渡型)、割賦販売実行資金、貸付資金、投融資資金、運転資金、借入金返済資金、有価証券の取得資金、短期社債償還資金及び社債償還資金に充当する予定であります。

第203回債及び第205回債の手取金については、全額を既存のハイブリッド車(HV)に係る支出に関する資金に充当する予定であります。

「第一部 証券情報」「第2 売出要項」の次に以下の内容を追加します。

【募集又は売出しに関する特別記載事項】

<オリックス株式会社第203回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(グリーンボンド)及びオリックス株式会社第205回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(グリーンボンド)に関する情報>

グリーンボンドとしての適合性について

当社は、グリーンボンドの発行のために国際資本市場協会(以下「ICMA」という。)の「グリーンボンド原則(Green Bond Principles)2018」(注1)及び環境省の「グリーンボンドガイドライン2017年版」(注2)に即したグリーンボンドフレームワーク(以下「グリーンボンドフレームワーク」という。)を策定し、第三者評価機関であるサステナリティクスよりセカンドパーティ・オピニオンを取得しております。

(注1)「グリーンボンド原則(Green Bond Principles)2018」とは、ICMAが事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド原則執行委員会(Green Bond Principles Executive Committee)により策定されているグリーンボンドの発行に係るガイドラインです。

(注2)「グリーンボンドガイドライン2017年版」とは、グリーンボンド原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がグリーンボンドに関する具体的対応を検討する際に参考とし得る、具体的対応の例や我が国の特性に即した解釈を示すことで、グリーンボンドを国内でさらに普及させることを目的に、環境省が2017年3月に策定・公表したガイドラインです。

グリーンボンドフレームワークについて

当社は、グリーンボンド発行を目的として、グリーンボンド原則が定める4つの要件(調達資金の使途、プロジェクトの評価および選定プロセス、調達資金の管理、レポートニング)に適合するフレームワークを以下のとおり策定しました。

1. 調達資金の使途

グリーンボンドで調達した資金は、適格クライテリアを満たす新規または過去の支出(当社連結対象子会社による支出を含む)に充当します。

[適格クライテリア]

適格クライテリアは、今後に向けたグリーンボンドの継続的な発行を見据え、サステナビリティにおいて優先課題として取り組むべき重要課題とした環境エネルギー事業における再生可能エネルギー、自動車事業におけるクリーン輸送、不動産事業(不動産の開発、賃貸、施設運営)におけるグリーンビルディングについて設定しています。

(1) 再生可能エネルギー

～ の再生可能エネルギー発電設備に該当する資産に係る賃借、取得、建設、維持に関する支出（但し、過去の支出については、グリーンボンドの払込日から過去3年以内に本格稼働した設備に係る支出に限定します。）

太陽光発電

陸上および洋上風力発電

バイオマス発電

燃料を持続可能な植物資源とするもの、廃棄物資源であるもの、食品と競合しない資源であるものに限定し、石炭混焼の設備は除く

地熱発電

水力発電

発電容量が25MW以下の発電所に限る

(2) クリーン輸送

オリックス自動車株式会社における～ の事業で要する自動車車両（電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド車(PHV)、ハイブリッド車(HV)、燃料電池車(FCV)）の購入・維持費用に関する支出（但し、過去の支出については、グリーンボンドの払込日から過去3年以内に購入した車両に限定します。）

車両リース事業

レンタカー事業

カーシェア事業

PHV、HVについては、自動車メーカーが車種毎に表示しているCO₂排出量、および国土交通省等が公表しているCO₂排出量の統計データ等をもとに算出した乗車人員1名あたりのCO₂排出量が1kmあたり75gCO₂以下である車種に限定。

(3) グリーンビルディング

～ の認証のいずれかを取得済みまたは取得予定の資産の取得、建設、改修に関する支出（但し、過去の支出については、グリーンボンドの払込日から過去3年以内に以下の認証を取得済みの資産に限定します。）

CASBEE：Aランク又はSランク（自治体が定める評価方法に基づく自己評価を含む）

LEED：Gold又はPlatinum

BELS評価：4つ星又は5つ星

DBJ Green Building 認証：4つ星又は5つ星

2. プロジェクトの評価および選定のプロセス

当該グリーンプロジェクトは、オリックスグループの各担当部門（環境エネルギー本部、オリックス自動車、オリックス不動産）が採算性・サステナビリティに関するリスク等を検証のうえ立案し、社内規定に従い最終承認権限者の正式な承認を取得して実行されます。

グリーンボンド対象資金用途については、財務部が選定し、サステナビリティ推進チームが属する経営計画部と適格クライテリアへの適合性を協議のうえ、財務部管掌役員が最終承認します。

3. 調達資金の管理

当該グリーンボンドによる調達資金の全額は、財務部が充当と管理を行います。財務部は半期に一度、管理ファイルを使用し適格グリーンプロジェクトの予算と支出を確認し、これによって調達資金の充当額および未充当額を追跡管理します。さらに当該グリーンボンドの調達資金が適格グリーンプロジェクトへの支出に充当されるまでの間、調達資金は現金または現金等価物に一時的に投資されます。

4. レポートニング

(1) 資金充当状況に係るレポートニング

調達資金の全額が適格クライテリアを満たすプロジェクトに充当されるまでは年1回、当社ホームページ上で当該グリーンボンドの調達資金の充当状況（合計充当済金額、未充当金額）を公表します。公表内容には、下記のプロジェクトカテゴリー毎の詳細（充当済みプロジェクト・資産件数（車両台数または物件数）、合計充当金額）を含みます。また、資金充当完了後も、充当プロジェクトに大きな変化が生じた場合にはその旨開示予定です。

(2) 環境改善効果に係るレポート

当該グリーンボンドの残存期間中、少なくとも年1回、機密性を考慮し、かつ、合理的に実行可能なかぎりにおいて、当社ホームページ上で以下の指標を公表します。

再生可能エネルギー

設備容量 (kWh)

推定CO₂削減効果 (ton)

クリーンな輸送

充当済み車両台数

合計推定CO₂抑制量

グリーンビルディング

物件名またはプロジェクト名

認証の種類

認証レベル

推定CO₂排出量 (ton)